



2018



寒い日が続きますが、体調崩さずに頑張っていますか？  
勉強に部活に遊びにと忙しい毎日を過ごしていることでしょう。  
冬休みくらいは、ゆっくり本を読んで、心にも栄養をあげて  
くださいね。今回は家族をテーマにした本を紹介します！

## テーマ：家族

近隣5館の図書館司書が選びました！



『紙の動物園』ケン・リュウ／著 早川書房  
母が包装紙で折った動物たちは、みな命を吹き込まれたように動いていた。しかし、僕の心が母から遠ざかるほどに……。異なる文化との相互理解の困難さを、家族で描いた表題作『紙の動物園』を含む7編のSF短編集。  
右京中央図書館／選

『有頂天家族』 森見 登美彦／著 幻冬舎  
矢三郎は狸の名門・下鴨家の三男。狸界を束ねていた父が、狸鍋にされてしまった。『阿呆の血』をひく息子たちの奮闘。父への尊敬、母の愛、兄弟の絆が心に沁みる。狸と天狗と人間が京都の町で巻き起こす大騒動。  
久せふれあいセンター図書館／選



『懐かしい食堂あります』 似鳥 航一／著  
東京下町で評判の「みけねこ食堂」を営む大家族谷村家。ところが、後継ぎの長男が突然隠し子を置いて失踪。急ぎよ失業中のイタリアンシェフの次男柊一が切り盛りする。ライバル店のたくらみや、常連客への対応。個性的な弟3人と喧嘩しながら奮闘する。なにより、出てくる料理がおいしそう！（料理も個性的）  
西京図書館／選



『ファインディング・ゴビ』 ディオン・レナード／著 あすなろ書房  
 ゴビ砂漠を走る過酷なウルトラマラソンに挑む著者は、並走して離れない子犬に出会い、家族に迎えようと決心します。でも、家族になるには困難な壁が立ちはだかり・・・ハラハラ、奇跡のノンフィクション！

吉祥院図書館／選

『空へのぼる』 八束 澄子／作 講談社

命の重さを感じられる一冊です。守るべき人の存在や、大切な人からもらった言葉で、一步踏み出す勇気が持てます。私は12章目の恋人の言葉に胸がつかまれました。人間味あふれる言葉のエネルギーを感じてください。

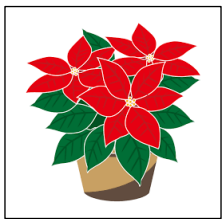
洛西図書館／選



年末年始休館のお知らせ

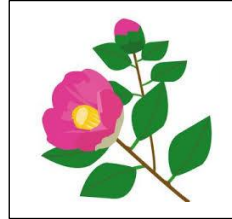
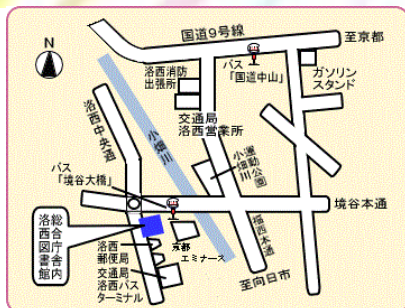
12月29日(土)から1月4日(金)まで全館休館します。  
 新年は、1月5日(土)午前9時半から通常通り開館いたします。

今年の冬は、暖かい図書館で、じっくり調べ学習をしよう！



京都市洛西図書館

〒610-1143  
 京都市西京区大原野東境谷町2丁目 1-2 洛西総合庁舎1階  
 電話(075)333-0577 FAX(075)333-0887



京都市西京図書館

〒615-8236  
 京都市西京区山田大吉見町20-3  
 電話(075)392-5558 FAX(075)381-8901



■開館時間 平日 : 午前9時30分～午後7時30分  
 土曜・日曜・祝日: 午前9時30分～午後5時  
 ■休館日 毎週火曜日(火曜日が祝日の時はその翌平日)  
 年末・年始

■開館時間 平日 : 午前9時30分～午後7時30分  
 土曜・日曜・祝日: 午前9時30分～午後5時  
 ■休館日 毎週火曜日(火曜日が祝日の時はその翌平日)  
 年末・年始